

今回は那覇市内で高齢者福祉の中核を担うお二人のセッションです。
それぞれの立場から、福祉のあるべき姿や共生社会の実現に向けた
取り組みを話していただきました。

福祉センターで 人生観が変わる

池村 私が所長を務める壺川老人福祉センターは、コロナ前は800人ほどの利用者がいましたが、現在は600人弱にまで減少しています。高齢の父母が外出することに不安を感じるご家族もいらつしやるようですが、高齢者は家に

ある利用者も多く「赤い羽根共同募金活動」「芸能チャリティ公演」「ひやみかちカラオケ大会」などに積極的に参加していますよ。窓口に設置している募金箱にも「小銭があるから入れとこうね」と気軽に寄付したりしています。

新本 センターは60歳以上の市民が気軽に集い、ゆんたくしながら趣味や生涯学習、レクリエーションを楽しむ憩いの場です。高齢者の居場所をつくることは健康寿命を保つためにとても大切です。利用者同士つながりを通して心身の健康増進にも大きく寄与しています。利用者がまわりの友人・知人を誘うことでセンターがさらに活性化すれば、理想的な共生社会をつくるヒントにもなります。それも私たちの大きな目的であり、それに基づいて活動計画を策定しています。

大成功だった チャリティ公演

池村 1月7日に那覇市社会福祉協議会（以下、社協）と那覇市が共催した「創立70周年記念チャリティ公演」では大変お世話になりました。私ども社会福祉法人陽風会はその那覇市の指定管理者として高齢者福祉施設「壺川老人福祉センター」「末吉老人福祉センター」「辻老人憩の家」を運営していますが、当日は施設利用者に貴重な発表の場を設けていただき、あらためてお礼を申し上げます。

新本 こちらこそお世話になりました。今回の公演はサブタイトルを『温故知新』地域との縁々感謝を込めて」とさせていだきました。これは社協70周年という節目に当たり、その役割は何なのか、今後どうあるべきかという思いを込めたものです。当日は陽風会の運営する3施設と社協運営の「小禄老人福祉センター」「識名老人福祉センター」「金城老人憩の家」、日本赤十字社沖縄県支部運営の「安謝老人憩の家」という7つの高齢者福祉施設利用者に、日頃の練習の成果を披露いただきました。チャリティ公演自体3年ぶりの開催でしたが、あらためて地

閉じこもっている心身ともに不調を来します。なるべく外に出掛ける機会をつくるのが大切であり、その機会をつくれるのがセンターです。どのセンターも県の定めたガイドラインに沿って感染対策を万全に行っていますし、実際にセンター内での感染は一つも報告されていません。ご家族の方も安心して送り出してほしいですね。**新本** 確かに感染症などの不安はあるでしょうが、私はセンターの利用者が元氣な自分の姿をまわりに見せることも大切だと思っています。何かと窮屈な時代ですが「この人を見本にすれば元氣がでるのではないか」と思っていたく自治会活動においても似たようなことがいえます。「入会しても草刈りをやらされるだけなんじゃないか」と思っている人も多いかもしれないませんが、実際に参加してみると意外と楽しい。そこで仲間ができる。会社勤めの時には得られなかったこともアドバイスしてもらえる。その流れでセンターに通い始め、いろんなつながりができると楽しくてしょうがない。そこで生きる価値を理解する。人生観が変わります。人は決して社会とつながりを断つてはいけません。地域住民のつながりが地域社会全体

域や施設同士がつながることの大切さ、また公演の開催が利用者の心身の健康にも有効だということも確認することができました。

池村 利用者の皆さんは普段から熱心に琉舞や三線の稽古に励んでいるのですが、この3年間発表の場がありませんでした。皆さん普段の成果を披露したいと思っていますし、友人の発表も見てみたいと思っています。今年は本当に多くの利用者がこの公演を楽しみにしていて、チケットの販売も好調でした。用意していた分はすべて売り切れましたので、最後は「当日会場で購入してください」とお願いするほどでした（笑）。

新本 おじいちゃんやおばあちゃんが出演することで、子や孫、親戚、友人・知人まで多くの方が観に来てくれました。この3年間いろんなことがありましたが、多くの企業にチケットの購入や寄付もいただきました。子どもたちから高齢者まで皆さんに喜んでいただくことができたので、大成功といっていでしょうね。

高齢者福祉センターの 役割とは

新本 先ほども話しましたが、そもそも社協の役割とは何か。さらに

いえば福祉とは何か。人は皆幸せを求めています。が、どうすれば幸せになれるのか。社協は経済面や健康などで困っている人を支援するボランティア的な発想で70年前にスタートしましたが、古代中国・漢時代の中国の古典『易林』では福祉を「天の授ける極みのない齢を全うして喜びにあずかること」としています。またWHOは健康を「病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも精神的にも、そして社会的にもすべてが満たされた状態にあること」と定義しています。それが100%達成できることはないにしても、より住みよい共生社会の実現に向けて皆が力を合わせなければいけません。そのための一つの手段として、老人福祉センターが存在していると私は考えています。

池村 おっしゃるとおりですね。それがまさにセンターの役割です。私ども陽風会が2008年に市内3つの老人施設の指定管理を受けてから今年で15年目になります。医療法人陽心会と連携して地域の福祉と医療・介護をシームレスにつなぎ、高齢者が健康で楽しい時間を過ごせるよう日々職員同士で話し合いながら運営しています。社協の推進する福祉事業に理解が



高良理事長の代理で表彰状を受け取る
高良まき子局長（右）



医療法人 陽心会

医療法人 陽心会



社会福祉法人 陽風会

社会福祉法人 陽風会

有限会社

ヘルスサポート

理事長 高良 健

大連中央病院
那覇市安里1-1-37 TEL.098-869-0005 (代)
リハビリテーション部 TEL.098-869-0050
メディカルプラザ大連中央
那覇市字大連123 TEL.098-886-0007 (代)
一般内科部門 TEL.098-886-0115
循環器部門 TEL.098-886-5141
糖尿病部門 TEL.098-886-0115
人工透析部門 TEL.098-886-5151
検査部門 TEL.098-886-5678
介護老人保健施設 やすらぎの里
那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030
グループホーム たかまーみの家
那覇市字大連94-3 TEL.098-887-0081
小規模多機能型ホーム 大連
那覇市字大連94-3 TEL.098-885-0018
グループホーム 大連が丘
那覇市字大連94-3 TEL.098-885-0036

小規模多機能型ホーム 三原
那覇市三原2-8-10 TEL.098-840-0027
訪問看護ステーション 陽心会
那覇市安里64-9-1F TEL.098-860-1270
那覇市地域包括支援センター 若狭
那覇市安里2-1-10 TEL.098-863-1165
那覇市地域包括支援センター 新都心
那覇市安里1-6-15 TEL.098-941-2252
（訪問介護事業所）
那覇市字大連128 TEL.098-885-0033
ケアハウス 常夏の島
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0036
小規模多機能型ホーム 牧志
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025
有料老人ホーム 星の館
那覇市安里1-1-17 TEL.098-917-1262
特別養護老人ホーム 前島
那覇市前島2-18-17 TEL.098-694-8039

有料老人ホーム 健康の杜
那覇市安里3-1-47 TEL.098-941-0070
有料老人ホーム 松風邸
那覇市安里2-10-14 TEL.098-869-8557
ビルズガーデン那覇
那覇市字松川20-1 TEL.098-885-0300
デイサービスセンター 松川
那覇市字松川20-1 TEL.098-885-0300
デイサービスセンター 若狭海岸
那覇市安里1-21-1 TEL.098-941-0110
デイサービスセンター 大連
那覇市字大連127 TEL.098-886-0066
有料老人ホーム 大連中央
那覇市安里1-6-8 TEL.098-886-0061
デイサービスセンター 若狭
那覇市安里3-5-17 TEL.098-869-6122
有料老人ホーム 若狭
那覇市安里3-5-17 TEL.098-869-0087

51 OKINAWA GRAPH

セッション

OKINAWA GRAPH 50